

みこむだこ

旧東海道品川宿周辺まちづくり協議会
〒140-0001 品川区北品川2-2-10 TEL 03-3472-4772
URL <http://www.japan-ctiy.com/sina/>

新しい拠点の整備、始まる。

新年号でもお伝えした通り、われわれ協議会にとって待望久しかったまちづくり活動の拠点がついに手に入り、その整備がよいよスタートします。

品川区からは先に、拠点整備の基本方針を策定する「観光案内所等整備および運営のための企画、調査研究」と題した業務委託をいただき、主に運営委員会の場で協議をしてきましたが、これをとりまとめ、19年度の末に区に提出しました。またこれに先立ち、東京都観光局の「江戸東京・まちなみ情緒の回生事業」として、新しい拠点を中心とした周辺の景観整備への助成を申請したところ、これが受理されました。

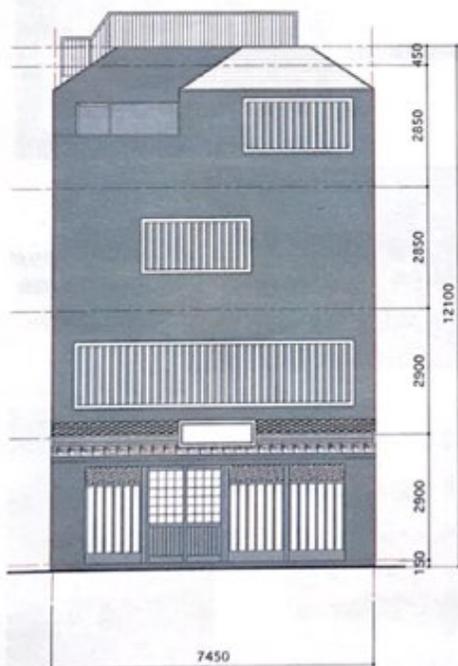
この東京都の助成事業では、建物のファサード、南側路地の石畳、西側駐車場の冠木門などの整備が対象となります。南側路地については私道のため、お住まいの皆さんの承諾と費用の一部ご負担を必要としますが、こころよく全員の方が賛同して下さいました。

今後は(新年号でお知らせしたスケジュールと異なりますが)、協議会で策定した基本方針をもとに区とも協議をしながら実施設計をまとめ、20年9月末(宿場まつり終了後)から改装工事に着手し、年末までには引き渡しを受け、新年の東海七福神めぐりには開店してお客様をお迎えしたいと考えています。

まちづくり協議会は本年、発足20周年の節目の年を迎えます。その年にこのような拠点の整備に着手できることは、本当に感無量です。ちょっと遅くなりますが、来春のオープニングを待って、またみなさんと20周年を盛大にお祝いしたいと思います。

なおこの拠点については、区長をはじめ品川区のみなさんから、本当に温かいご支援とご協力をいただきました。ここに記して感謝いたします。

会長 堀江 新三



ファサードデザイン案



南側路地の石畳整備イメージ



西側駐車場の冠木門イメージ

これからも継続したいファサード整備。

昨年度、「地域連携型モデル商店街専車」を活用し、各商店の正面デザインを整備を実施しましたが、19年度もこの専車を引き続き「ファサード(店舗正面)整備」に取り組みました。この整備専車は、それぞれのお店がもっている歴史性を目に見えぬ形に表現したり、埋もれているものは再生することによって、品川商店街のまち並み、景観を歴史的な趣のあるものに整備していくというものです。

この2年間の整備によってまち並みは実顔にかなり変わってきたように思っています。また、まち並みの方々からも「歴史的な雰囲気が出ていいですね」と好評をいただきました。ありがとうございます。みなさんの印象はいかがでしょう。



南長町の徳島商店街(東武東横線)



東田原工業所(北野駅東口正統大青町)

協議会ではこの2年間「景観法」にも取り組んでいますが、その活動とも合わせて、今後ともこのファサード整備を継続し、品川商店街、東海街道らしさが感じられる「まち並み整備」に取り組んでいく方針です。また、いろいろなご意見を聞かせていただければと思います。

「景観まちづくり協議会」の開催

平成18年に景観法が施行され、品川区は景観行政団体として旧東海街道品川地区をモデル地区に指定しました。そして、平成18年から品川商店街の各種団体と進めてきた景観会議の開催を踏まえて、昨年末から、二、三年後に予定される、品川商店街の景観計画や地区計画を想定した中間取りまとめ案の作成に向けて取り組んでいます。

旧東海街道品川商店街まちづくり協議会は、今まで新築物件計画に対して「まちづくり計画書」に沿った「お願い」などをしてきた経緯、地域連携型モデル商店街専車の実績などを踏まえて、実効ある景観計画の作成をお願いし、度々協議会に参加しております。

平成20年度は、品川商店街の方との話し合いに際しての意見を踏まえて、次代の街をどうしていきたいのか、積極的に意見を述べて欲しいものです。

石巻の創設や街の整備、景観の地中化など、まちづくり交付金の導入などを進めていただき、まち並み整備をすすめていく必要性があります。又、この二、三年、目だつて増えてきた高層マンション対策として、「地区計画」による都市計画の高層制限を早期実施できるように、住民活動を支援していただけるよう要望をしております。

最近目立って街を訪れる人が増えてきました。街を訪れてくれる人々、おもてなしすること、街を活性化して行くことになる、そのような景観計画になることを期待しています。

新築 正統



夕前の塔場通り南側



夜間の塔場通り南側



イベント時はほのぼのとした立ち並ぶ塔場通り南側



北から南まで道路灯はこのデザインで統一される予定



水面上に見える品川商店街のぼんぼり

「まちづくり協議会」の開催!

まちづくり協議会のブログを開発し、自前の情報発信ツールを持つという思いから、協議会を重なる結果、今年1期に開催の「品川商店街まちづくり協議会」を開催することができました。これは記念すべき初投稿記事です。



1月4日「もうひとつの商店街版」のサポート

なぜいまブログなのか
情報発信ツールとしてのブログには次のようなメリットがあります。

1. 開設費、運用費などが一切無料
2. 記事の投稿や保守管理が極めて簡単
3. 運営委員会での共同運用が可能

ブログにはさまざまな管理ツールが準備されているので、自前のホームページからすると、はるかに楽な使い方ができます。また当初から複数のスタッフによる共同運用を考えていましたので、その点からもブログが最適という結論に至りました。

お試し投稿の連絡、協力者に期待

協議会の情報発信を目的としたブログですが、「形式にこだわらずに面白くないものにはしたくないよね」というのが佐山理事長を中心としたブログスタッフの思いです。記事を書く人、写真やビデオ素材を提供する人を広く募集しています。ぜひお気軽に協議会ブログを平伝ってください、よろしくお願ひします。

URL: <http://sh-kubashi.esblog.jp/> (ベコリ)



携帯のバーコード読み取り機能でアドレスを読み取れます。

佐々木 俊也

東加賀市から48人の大参観!

平成20年2月18日(月曜)東加賀市(今様・草加宿)実行委員会及び市・産業振興課の一行、48名が品川商店街まちづくり協議会にみえ、協議会メンバーが案内をいたしました。



八つ山アンテナバスの前陣に全員集合



星加賀、東加賀市長から「品川商店街まちづくりについて」(大東青町)

旧日光街道「草加宿」は平成15年、まちづくり活動の推進のため実行委員会を発足させ「今様・草加宿」地域再生プロジェクトをスタートしたとのこと。そこでまちづくり活動先進地域との視察をしているなか、川越や新木に続いて品川宿を訪れました。

品川宿の上から品川宿越しに新田の品川を望むもいながら、旧東海街道のまちづくりの課題を説明しました。スタートは新築なつた、品川宿の入り口、八つ山の除赤松をめぐってから始まりました。品川宿、南品川宿と進み、お寺さま、神社を参拝。品川神社の大神庫を見ながら、神社理事長さんから品川の祭りについて話さずにはいられません。途中、まちづくり協議会の活動、NPO活動などを説明しながら、品川宿ユビキタス計画の説明、実演など盛り込み品川宿のまちづくりの一端を見てもらいました。

東加賀の皆さんは、思いの外、宿場町の雰囲気を感じていることや、明治、大正、昭和初期の建物がまだまだ残っていることに感心されていました。「品川宿は素晴らしい」とのお褒めの言葉を頂き、我々のこれからの活動にエネルギーを送っていただきました。

東加賀にもぜひ来て欲しいとお誘ひも受けました。東加賀へいらっしゃる方はご紹介いたします。まっくと歓迎される事と思います。

新築 正統

追記: 当日参加できなかった市役所の方2名+2名が、3月17日に見学にお見えになり、「唐草通り」で写真までお撮りいただきました。

『東海道五十三次～ユビキタス計画 Vol.Ⅱ～』

現在、旧東海道品川宿周辺エリアの街路灯からまちの情報を配信しています。

おかげさまで各方面から注目され、品川宿の史跡や見どころの宣伝に少しは貢献できたようです。

今年度は昨年度の利用状況などを検証し、情報の配信方法とプレート設置場所の変更を考えております。

- 1)専用端末による情報自動配信への対応
 新型端末を導入し、端末を持ち歩くだけで自動的に周囲の情報が得られるようにします。



従来は自分で情報を読み取りに行く必要があった。

今後は街を歩くだけで自動的に欲しい情報が降ってくるようになる。

2)情報配信プレートの配置変更

エリアの情報は自動配信に任せ、プレートによる情報配信に関しては、よりピンポイントな情報配信に変更します。



境内に設置したプレートでは「北の天王祭」の情報を配信

大黒天の前のプレートでは「東海七福神」の情報を配信



3)配信エリアの拡大

八ツ山橋から鮫洲商店街手前までの配信エリアを、立会川を含む4 Km のエリアを予定しています。また、街道沿だけの配信から各種施設・公園や運河など街道から少し離れた場所にも拡大します。

以上の新しい取り組みを行う為、まちの人々とこれまで以上に協力し、まち歩きの人々や地域の方々に喜んで頂ける、人に優しい情報配信を行い、未来の宿場まちを創造していきたいと思っています。

ティエイティ(株) 小島 忠



情報配信プレート



郡山市の「まちづくりセミナー」に参加。

さる2月6日、郡山駅周辺の若手商店主のみなさんで組織する「商店街きらめき 21 研究会」からご招待をいただき、郡山市の「まちづくりセミナー」に参加しました。郡山市は奥州街道の宿場町として栄えた歴史があり、われわれ同様、宿場をひとつのキーワードにしたまちづくりに取り組んでいます。

主催者の「きらめき 21」のみなさんは大変熱心で、これまですでに 2 回も品川宿にお見えになり、まちを見学されるだけでなく夜を徹してわれわれと議論を交わしてきました。

さてセミナーでは、前半で堀江会長から品川宿での 20 年間のまちづくり活動について、佐山からスライドを交えてこの間のまち並み整備の報告、NPO 法人東海道品川宿の金子事務局長からは主に空き店舗対策についてお話し、後半の質疑応答へと移りました。

当日は、郡山市や青年会議所にも声をかけていただいたこともあり、60 人を超える参加者があり、われわれの話に熱心に耳を傾けていただきました。そして懇親会では、双方の会長が壇上で握手を交わして、今後の友好交流の証となりました。



郡山市「まちづくりセミナー」の会場